

日本磁器発祥の地  
「有田」で  
技術とスピリットを身につける

# 窯業人材育成事業 一般研修案内



SAGA CERAMICS RESEARCH LABORATORY

ろくろコース

絵付コース

製造技術コース

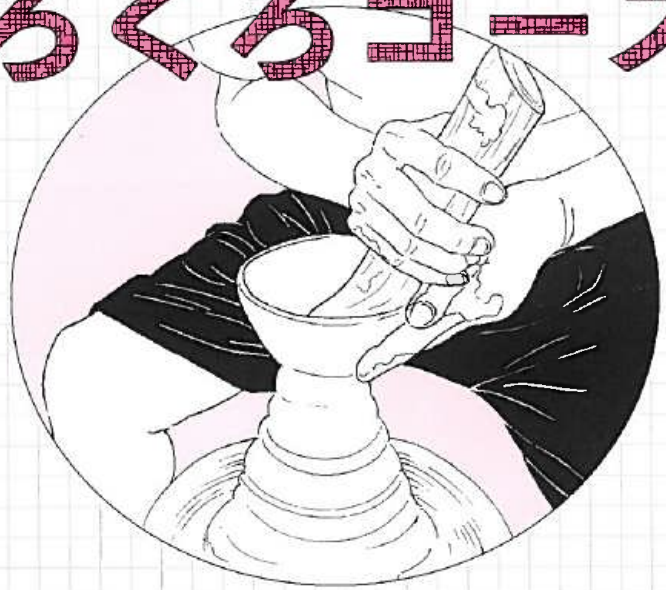


佐賀県窯業技術センター

# 一般研修

高校・大学卒や社会人などを対象に陶磁器製造技術研修を実施します。  
修了後は、就職や家業の後継者を目指すことができます。  
研修期間：6ヶ月（1～2年の継続受講可） 月々金曜日

## ろくろコース



## 絵付コース



## 製造技術コース



江戸時代初期、有田で磁器原料となる泉山陶石が日本で初めて発見され、伊万里・有田焼の生産が始まりました。

以来、四百年にわたって日本の陶磁器産業を牽引してきた有田に、陶磁器産業の次世代を担う新しい人材を育成する研修がスタートしました。陶磁器業界に従事しようとする方を対象に、ろくろ、絵付、型製作、成形等の技術研修の場を提供し、伝統の継承と産業へ貢献できる人材の育成をめざします。

(基礎／応用 各研修期間 6 か月)

### 研修の概要 (研修により習得できる技術)

伝統工芸士の指導により、ろくろ成形を主とした技術の修得を目指します  
基礎コースでは、土こねから道具作りといった基本的技術を学びます  
応用コースでは蓋付飯碗、皿、立ち物と段階に応じた課題に取り組みます

### 研修の目標

基礎 ろくろ成形に必要な工具・道具の取り扱いや成形・焼成に関する基本となる製造技術を習得する  
応用 ろくろ成形の基礎をベースに幅、高さ、容量などを考慮に入れ、器づくりの応用技術習得に努める

受講料 3,700 円／月 ※2020 年度実績



土こね



蓋付飯碗



ハマづくり



のべベラ



あてベラ

(基礎／応用 各研修期間 6 か月)

### 研修の概要 (研修により習得できる技術)

伝統工芸士の指導により、伝統絵付を主とした装飾技法を学びます  
基礎コースでは、下絵付の基本的技術を学びます 応用コースでは技術に応じて上絵付・染錦の技術習得をめざします

### 研修の目標

基礎 伝統的な磁器の下絵付に用いる絵具の溶き方、筋車を用いての中心取りから線引き、線描き(骨描き)による基礎技術を習得する  
応用 伝統的な磁器の下絵付・上絵付に用いる絵具の溶き方、線描き(骨描き)、濃みによる基礎技術を習得する

受講料 4,700 円／月 ※2020 年度実績



基礎 染付課題



基礎 染付課題



応用 上絵付課題



応用 染錦課題

(基礎／応用 各研修期間 6 か月)

### 研修の概要 (研修により習得できる技術)

基礎コースでは、陶磁器製造のために必要な型の製作や鑄込み成形、下絵付、釉薬、製図の基本的な技術を学びます  
応用コースでは、量産するために必要な型、印刷、3DCAD 等高度な製造技術の習得をめざします

### 研修の目標

基礎 1. 石膏型製作・成形など陶磁器技術の基礎を学ぶ  
2. 石膏ろくろ・機械ろくろ・圧力鑄込み装置等の操作ができる  
応用 1. 3D プリンターやモデリングマシン等の操作に必要な 3DCAD の技術を習得する  
2. 陶磁器デザインに必要な製品の設計ができる

受講料 14,700 円／月 ※2020 年度実績



石膏ろくろによる型製作



転写技法



機械ろくろ成形



3D プリンタでの原形製作

# OB・OG インタビュー



**Kaneko Ren**

4期・5期 製造技術コース

東京で伝統工芸のディレクションの仕事を通じ、ものづくりに興味を持つ。実家は有田の窯元。



**Morokuma Chika**

4期 絵付コース

接客業を経験し、絵付研修を受講。現在、実家の窯元で家族や職人さんに囲まれて奮闘中！有田出身。



**Nakamura Masashi**

4期・5期・6期 製造技術コース

アート関係の仕事をしているとき、TVで窯業技術センターが紹介されているのを見て、窯業人材育成事業を知る。長崎出身。

諸限さんは下絵付の研修を終えて、今、どんな仕事をしていますか？

諸限（以下M）製造工程に入ったり、商品の在庫管理や受注業務をしています。忙しくて、日々勉強です。

みなさんは、どうしてこの研修を受けようと思ったんですか？

金子（以下K）伝統工芸の職人さんと接する仕事をするうちに、実際に作る方に興味がありました。そのタイミングで、東京から有田に戻ろうと思い、実家の窯元に入る前に、基礎を学べるところを探しました。

M 私が、絵付コースを選んだのは、絵付には高い技術が必要だと知っていたからです。現場で職人さんの手を煩わせることなく、技術センターの研修で基礎を学んでおく必要があると考えました。週に三日、伝統工芸士の先生から学ぶことができ、本当によかったと思います。

実際に研修を受けてみて、どうでしたか？

中村（以下N）専門の先生から丁寧に指導してもらえるとところが良かったです。実際に作りながら細かいポイントを指摘されます。いろいろな窯元に見学に行ったり、歴史についての講義があったりと、知識も身につけられます。

K 家では、型を作るところは見たことがありませんでした。製造技術コースでは、型の製作や生地成形

から、釉薬調合、転写の技術など、幅広く学べて、製造プロセスを全体的に見ることが出来ます。伝統技法だけではなく、Rhinoceos（CADソフト）の操作など、これから必要になる技術も修得できます。

M 窯業に限ったことではないですが、全体の流れがわからないと、幅を持つことができません。今できること、これからのことを考えるためにも、基礎から学び、情報を集めることはとても大切だと思います。

N あと、ネットワークが広がりました。窯業関係の色々な人と知り合えることも大きなメリットですね。それに、研修の同期生とも出会えてよかったです。

（ふたりとも頷いて）そうそう！

M 実は、私は窯を継ぐというプレッシャーがあったのですが、研修の仲間がいて、自分だけでなく周りに頑張っている人がいるということが励みになりました。研修を受ける前と後では、見える景色が変わったように思います。

K 僕は、やきものに対する興味がわきました。昔は身近すぎたのだと思います。今は、テレビや雑誌でやきものが特集されているのを楽しんでみるようになりました。この前の陶器市では、商品の背景をきちんと説明でき、研修を受けたことで、仕事としてやりがいを感じられるようになりました。

僕は、油絵を勉強していましたが、有田焼の絵付と全く違って最初は苦勞しました。焼成後の変化について考えることが難しく、目の前のプロセスについていくことで精一杯でした。与えられる課題をひとつずつクリアしていくことで、ステップアップできたと思います。他の研修生と作品の出来を比べて切磋琢磨し、一年半後にはある程度納得できる仕上がりになりました。今も、工場見学のお客様の質問にしっかり答えられるように、仕事の技術や肥前磁器の歴史の勉強を続けています。



**逸見直樹** 窯元に就職 千葉出身  
1・2・3期絵付コース修了

それでは、これから研修を受けようと考えている人にひとことをお願いします。

K これだけ素晴らしい設備、伝統技術を学べるのに受講料が安い！（ふたり）そう！安すぎる！

それは、この研修制度がみなさんのようにこれからの人材を育てたいからなんですよ。

K 学校とも社会とも違う、何か特別な時間をすごすことができます。

N 自分に必要だと感じたのなら、是非おすすすめです。半年間と短いので、目的を持って受講しないとあっという間に過ぎてしまいます。そして、有田は雰囲気もいいですね。

（有田出身のM&K）本当？ありがとう（笑）

N 壁が飛ぶのを楽しみにしています（笑）

1～2年かけて 必要な技術を習得できます

同じコースの基礎～応用を通して技術向上できます。複数コースを1～2年かけて受講すると陶磁器製造技術全般を学ぶことが可能です。





# 充実した施設・設備

ろくろコースでは電動ろくろ、絵付コースでは作業机がひとり一台完備されています。製造技術コースでは、石膏ろくろや3Dプリンター等充実した設備でしっかり学べます。

## 石膏室

製図を基に陶磁器生産のための石膏型製作を行います。

主な設備/石膏ろくろ、フライス盤、石膏真空脱泡攪拌器、サンドブラスター



## CAD/CAM室

CADソフトで作ったデータをもとにモデリングマシンや3Dプリンタを操作します。

主な設備/PC、モデリングマシン、プロジェクター、カッティングプロッター



## PC室

CGデザイン、写真実習、転写実習を行います。

主な設備/mac、3Dプリンター、大判プリンター、ストロボ、デジタル一眼レフカメラ、撮影台、スキャナー

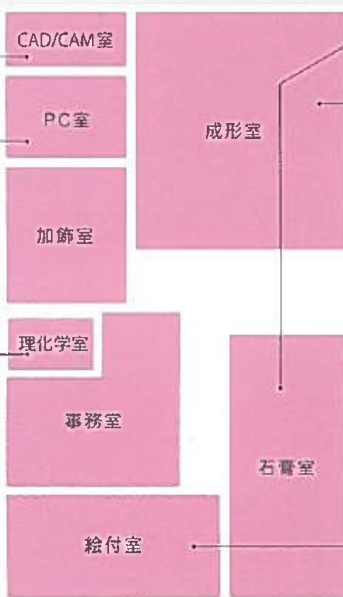


## 理化学室

釉薬の調合や原料の実験を行います。

主な設備/自動ライカ機、6KW電気窯

## 佐賀県窯業技術センター 研修棟



## 成形室

水挽きろくろ成形や石膏を用いたの各種成形を行います。

主な設備/電動ろくろ、機械ろくろ、圧力誘込装置、真空土練機、たたら成形機



## 絵付室

下絵付・上絵付の研修を行います。

主な設備/絵付台、投影台、恒温機



## 窯室

陶磁器焼成を行います。

主な設備/0.3 m<sup>3</sup>ガス窯、12KW電気窯、15KW電気窯、12KW電気窯

# 一般研修募集案内

募集人数	4月期/10月期 各20名(3コース計)
募集期間	4月期:毎年1月頃 10月期:毎年7月頃
応募要件	陶磁器業界への就業を希望する人
選考方法	面接(陶磁器業界への従事に対する意欲や考え方について)

佐賀県窯業技術センターでは、「一般研修」の他に窯元・商社の在職者を対象にした「オーダーメイド研修」や陶磁器に関するセミナーを実施しています。募集は随時行いますので、佐賀県窯業技術センターのホームページをご確認ください。

## Q & A

土もののろくろを学んだことがありますが、「ろくろ応用」から受講できますか？

有田では、磁土で「のべべら」を使ってろくろ成形をします。技法が違うので、経験がある方も基礎からの受講になる場合があります。

受講料の他に何かお金がかかりますか？

受講料には、基本的な土や顔料等の材料費が含まれています。個人で使う筆や道具類は、別に購入してもらうことになります。

修了後は、どのような進路が考えられますか？

窯元や商社といった陶磁器関連企業が主な就職先と考えられます。

未経験ですが、私にもできるでしょうか？

心配ありません。少人数制で技術修得を目指し、きめ細かに指導いたします。



- JR 佐世保線 有田駅下車 徒歩15分
- 波佐見有田インターチェンジから 車で3分



お問い合わせ/資料請求は・・・

### 佐賀県窯業技術センター 窯業人材課

〒844-0013  
佐賀県西松浦郡有田町大野乙2441-1  
Tel. 0955-42-3144 fax 0955-42-6552  
yougyougijutsusenta@pref.saga.lg.jp  
www.scril.gr.jp/index.php



佐賀県窯業 検索